

## 取扱説明書

機器を安全に使用するため、ご使用前に必ずお読みください。  
 取り扱い説明書は、ご使用になる方がいつでも見ることのできる場所に保管してください。

MADE IN JAPAN  
 OM-C0382 001



この取扱説明書の適用機種：FPB-EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64  
 FFB-EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64  
 NRS2-EC / ER4 / ER10 / ER16 / ER64

## ⚠ 注意

- 患者の安全を第一に考え、使用には十分に注意を払ってください。
- 有資格者による歯科領域の治療にのみ使用してください。
- 分解、改造は絶対に行わないでください。
- ガタ、振動、音、温度（発熱）に十分注意して、予め患者の口腔外で回転させ点検を行ってください。その時少しでも異常を感じたら、すぐに使用を中止し販売店へご連絡ください。
- 使用中に少しでも異常を感じたら直ちに使用を中止し販売店へご連絡ください。
- 回転中、プッシュボタンが押されないように注意してください。発熱してやけどをするおそれがあります。特に頬側部での使用は注意してください。
- 強い衝撃を与えないでください。特に落下させないように注意してください。
- 曲がったバー、傷の付いたバー、変形したバー、規格に合わないバーは使用しないでください。これらのバーを使用しますと回転中に折れたり、飛散するおそれがあります。
- 装着しようとするバーのシャンクは、いつもきれいにしてください。ごみなどが内部に入ると、芯ぶれや、チャック把持力が無くなるなどの原因になります。
- バー製造業者が指定している許容回転速度を守って、使用してください。
- バー、またはテストバーを装着していないときは、回転させないでください。
- 使用しないときも、バー、またはテストバーを装着しておいてください。
- ハンドピースやバーを着脱するときは、駆動側のモーターの回転を完全に停止させてから行ってください。
- 切削時は安全、健康のため保護眼鏡、防塵マスク等を着用してください。
- 機器及び部品は、必ず定期的に点検を行ってください。
- 長時間使用していない状態で再び本製品をご使用の際は、ガタ、振動、異音、発熱に注意して空回転させ、異常のないことを確認してからご使用ください。

## 1. 仕様

型式	FPB-Y	FFB-Y	NRS2-Y		
一般的名称	ストレート・ギアードアングルハンドピース				
販売名	コントラアングル ハンドピース FPB	コントラアングル ハンドピース FFB	コントラアングル ハンドピース NRS2		
認証・承認番号	認証番号 219ALBZ00006000	承認番号 22200BZX00211000	承認番号 22200BZX00204000		
許容入力最高回転速度（モーター）	40,000min <sup>-1</sup>	40,000min <sup>-1</sup>	30,000min <sup>-1</sup>		
ギア比	1 : 1	1 : 1	10 : 1 減速		
使用バー	φ2.35mmコントラバー（JIS T 5504-1に規定された軸部形式1、国際規格 ISO 1797-1 Type1）	φ1.6mmFGバー（JIS T 5504-1に規定された軸部形式3、国際規格 ISO 1797-1 Type3）	φ2.35mmコントラバー（JIS T 5504-1に規定された軸部形式1、国際規格 ISO 1797-1 Type1）		
バー装着長さ	13.3mm	10.7mm	13.3mm		
バーの最大長さ	22.5mm	19.0mm	22.5mm		
バーの最大作業部径	φ4.0mm	φ2.0mm	φ4.0mm		
シャンク	EC	ER4	ER10	ER16	ER64
ギア比	1 : 1	4 : 1	10 : 1	16 : 1	64 : 1

## 2. ハンドピースとモーターのセット方法

取り付ける際は、ハンドピースの位置決めを、モーターの位置決めに合わせてまっすぐ差し込みます。取り外しは、モーター前部とハンドピース後部をしっかりと持ってまっすぐ引き抜きます。

### ⚠ 注意

Eタイプ（JIS T 5904に規定されたジョイントを有する）、仕様にある許容入力最高回転速度以下のモーターと接続してください。

## 3. バーの着脱方法

### ⚠ 注意

切削バーの着脱は、必ずモーターの回転が完全に停止しているのを確認してから行ってください。

#### (1) バーの取り付け

ご使用のモーターへ本製品を装着してください。

##### A) FPB/NRS2（ラッチバー）

バーを回転軸へ差し込み、軽く回し半月部分が合う位置を探してください。位置が合うと一段奥に入り込みます。さらに強くバーを押すと、カチッと音と共にバーがロックされます。（図1）



図1

##### B) FFB（FGバー）

バーを回転軸へ差し込み、プッシュボタンを強く押してバーを回転軸の奥にあたるまで差し込み、プッシュボタンを離してください。（図2）

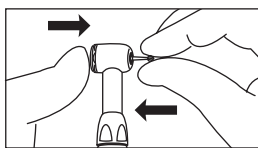


図2

### ⚠ 注意

バーを取り付けたとき、必ずバーを軽く引いて確実に装着されていることを確認してからご使用ください。（図3）

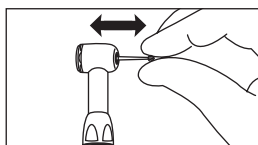


図3

- (2) バーの取り外し  
 プッシュボタンを押しながら、  
 バーを取り外します。(図4)

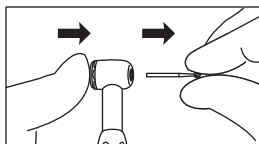


図4

## 4. 注油について

注油は使用後、またはオートクレーブ前には、必ずパナスプレープラスまたはケア3プラスによって行ってください。

### ■パナスプレープラスによる注油方法

- ①パナスプレープラスに、スプレーノズルを取り付けます。
- ②ハンドピースから、バーを取り外します。
- ③ノズルをハンドピース後部に差し込み、2秒間くらいスプレーします。

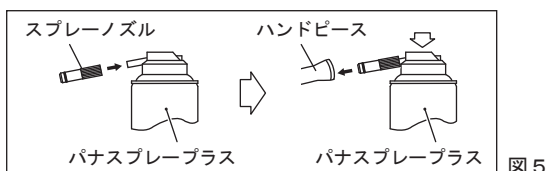


図5

### ⚠ 注意

- ・注油する際は、ハンドピースをしっかり押さえてスプレーの圧力によって飛び出さないように注意してください。
- ・スプレーは、ハンドピース先端よりオイルが出るくらい(2秒間くらい)まで行ってください。
- ・パナスプレープラスを逆さにして使用しないでください。

### ■ケア3プラスによる注油

自動洗浄・自動注油システムケア3プラスのご使用をお勧めします。

- ①ハンドピースを正しいアダプターに接続します。
- ②ケア3プラスの取扱説明書をご確認のうえ、洗浄・注油を行ってください。

## 5. 滅菌について

弊社では、滅菌についてはオートクレーブ滅菌を推奨しています。初めてご使用になるとき、及び各患者ごとの治療が終わりましたら、バーを取り外し下記のとおりオートクレーブ滅菌を行ってください。

### ■オートクレーブ滅菌方法

- ①表面の汚れをブラシ(金属製は不可)等で払い落とし、消毒用アルコールを含ませた綿などで拭き取ります。
- ②パナスプレープラスにより注油します。(4. 注油についてを参照)
- ③オートクレーブ用バッグに入れ封印します。
- ④135℃までの温度でオートクレーブ滅菌を行います。  
 例) 121℃で20分間、または132℃で15分間
- ⑤使用するまでパウチにいれたまま、清潔な状態を保てる場所に保管してください。

### ⚠ 注意

- ・酸化電位水(強酸性水、超酸性水)、または滅菌液で、洗浄、浸漬、拭き取りは行わないでください。
- ・保管の際は気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響が生ずるおそれなない場所に保管してください。
- ・滅菌直後は高温となっていますので触れないようご注意ください。

## 6. カートリッジの交換方法 (FPB)

- ①ヘッド接続リングをゆるめハンドピースからヘッドを取り外し、ヘッドのドライブギアを引き抜きます。(図6)
- ②付属のヘッドキャップレンチをヘッドキャップの溝に合わせて差し込み、反時計方向に回してゆるめ取り外します。(図7)

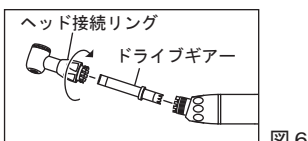


図6

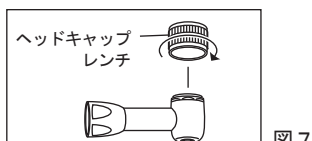


図7

- ③カートリッジをハンドピース用バー(φ2.35、切り欠きのないタイプ)で押し出します。(図8.9)



図8

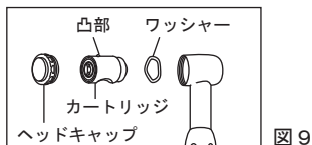


図9

- ④新しいカートリッジを装着する前に内部が汚れている場合は、パナスプレープラスを吹き付け掃除してください。
- ⑤ヘッドにワッシャーを入れ、カートリッジの凸部とヘッド内側の溝を合わせてカートリッジを挿入します。次にヘッドキャップを最初に手で2~3回転入れ、最後にヘッドキャップレンチで締め込んでください。

### ⚠ 注意

ヘッドキャップのねじは非常に細かいので、最初からヘッドキャップレンチは用いないでください。